

JAEF REPORT

平成24年10月5日

(公財)日本自動車教育振興財団 活動報告

年4回発行(1,4,7,10月)

【目次】

- ◆ 平成24年度自動車技術教育用機材の提供対象校・内容を決定
- ◆ 第85～87回JAEF研修会を開催

- ◆ 20都道府県(38件)の研修会に講師を派遣
- ◆ 自動車技術教育・交通社会教育イベントを支援
- ◆ 国内交通調査を実施

平成24年度自動車技術教育用機材の提供対象校・内容を決定 ……8月8日

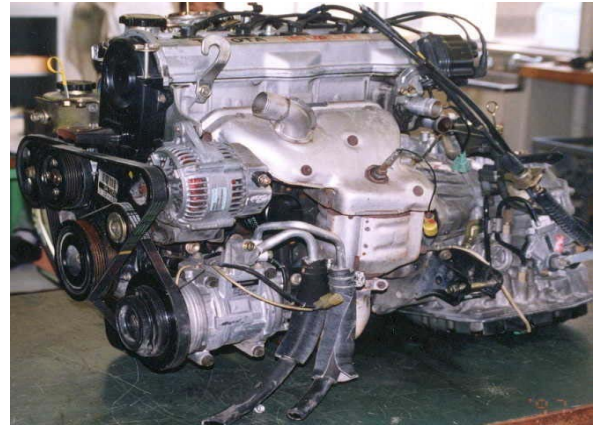
技術教育

財団は、8月8日に審査委員会(木村寛治委員長)を開催し、今年度の機材提供活動として、合計92校への自動車技術教育用機材提供を決定した。

本年度の公募対象は、15府県の全国工業高等学校長協会、全国総合学科高等学校長協会、全国自動車教育研究会の加盟校計303校で、6月に案内を行った結果、93校から応募があった。審査委員会で選考を行った結果、92校に対して提供することとした。提供機材は、基礎教育用教材の視聴覚教材(CD-ROM教材、掛図教材など)から、初級機材の分解組立用エンジンや工具類、さらには中・上級機材の電子ブロック実験装置やエンジンベンチなどの実験実習用機材まで27品目あり、本年度の提供機材の総額(市価相当額)は約3,000万円となる見込みである。

学校への機材納入は9月～11月に実施する。また11月～12月には、該当する府県ごとに、各府県自動車教育推進協議会の協力を得て、提供校への機材贈呈式を実施する予定である。

なお、平成3年度からの累計提供校数は、1,355校となる。



▲提供機材例(1300ccエンジン)

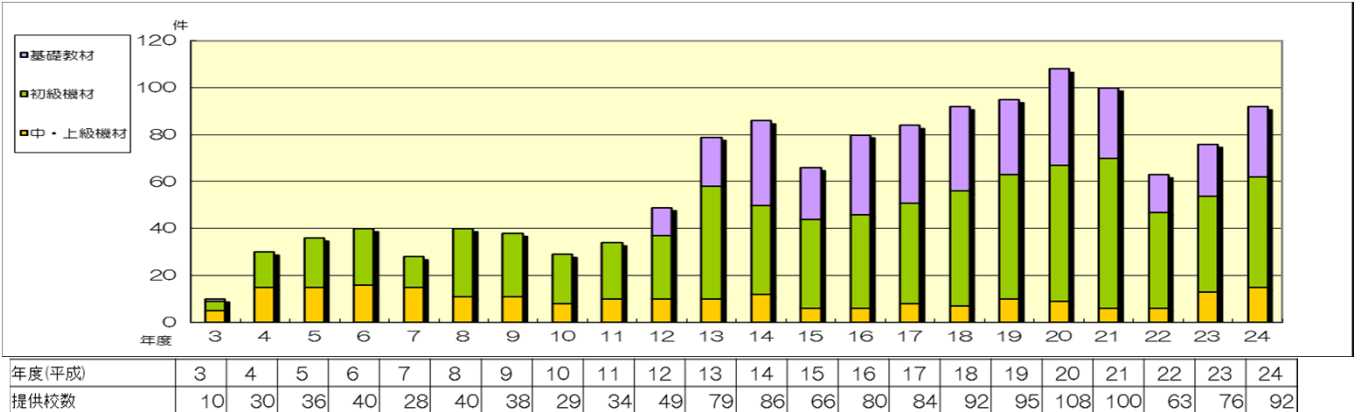
【24年度公募対象県と県別提供校数】

青森県(7)、岩手県(7)、宮城県(8)、福島県(7)、
 茨城県(6)、静岡県(5)、愛知県(5)、岐阜県(7)、
 三重県(5)、滋賀県(3)、京都府(4)、大阪府(12)、
 兵庫県(8)、奈良県(5)、和歌山県(3)

()内の数字は県別の提供校数

計15府県 92校

【年度別提供校推移表】



INFORMATION

10～12月予定

- 平成24年度自動車技術教育用機材贈呈式を実施 11月1日～12月中旬
- 15都県(25件)の研修会に講師を派遣 10月上旬～12月下旬
- 企画委員会、各部会を開催 10月23日～11月13日
- 米国の交通事情調査を実施 10月6日～14日

第85回～87回JAEF研修会を開催

…8月3日～9月20日

研修

財団は、全国の高等学校の先生方を対象とした第85回～87回JAEF研修会を開催し、全国から91名の先生方（社会科系19名、工業系35名、その他37名）とオブザーバー10名の合計101名が参加した。

JAEF研修会の講演は、「環境・安全技術」をテーマとしたもの（第85回「マツダの次世代環境・安全技術への取組み」）、「世界の自動車業界の展望」をテーマとしたもの（第87回「2015年の自動車たち、その現状の真相」）、「自転車の交通安全」をテーマとしたもの（第86回「自転車の交通事故とその責任」、「自転車を巡る新しい波」）の4つの講演を開催した。これらの研修テーマに沿った講演会と合わせて関連施設見学などを実施し、参加した先生方から各開催回共、高い評価を得ることができた。

「環境・安全技術」に関する研修会（第85回）では、「ガソリン・ディーゼルエンジンで大幅な燃費改善を図ったSKYACTIV技術について理解ができてよかった」。また「世界の自動車業界の展望」に関する研修会（第87回）では「近い将来、世界の人口が急激に増加するなか、中国・インドを始めとする新興国の保有台数が先進国を上回り、自動車業界は今後も成長

産業であるが各国のエネルギー事情に合わせた開発が不可欠である。その中でEVやハイブリット車がシェアを拡大するかは不透明であるとの話は興味深かった」などの声が寄せられた。

また、「自転車の交通安全」に関する研修会（第86回）では、生徒による通学時の自転車事故が多発している現状から、生活指導・交通安全指導を担当する先生が多く参加され、関心の高さが伺えた。欧米を中心とした自転車先進国と日本の遅れた自転車事情の違いをユーモアたっぷりに解説した講演の後、「正しい自転車の乗り方やマナーについてどのように生徒に指導したらいいのか」等、指導方法についての質問が多く出された。

施設見学についても、「自動車の組立ラインの自動化が進んでいる実態を見ることができてよかった」（第85回）、「EVやハイブリット車の試作品を直に確認できてよかった」（第87回）という評価をいただいた。ご協力いただいた企業・関係団体ならびに講師の皆様には、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

なお、平成3年の同研修会スタート以来の累計参加者は、本年度3回のJAEF研修会参加者（101名）を加えると、3,000名を超えた。



▲第85回JAEF研修会の様子



▲第86回JAEF研修会の様子



▲第87回JAEF研修会の様子

【平成24年度JAEF研修会開催実績・予定】

| 区分 | 実施回 | 日程・場所 | 講演テーマ・講師 | 見学施設・体験等 | 参加者(名) |
|-----------------------|------|------------------------|---|--|--------|
| 実績 | 第85回 | 8月3日(金) 広島県安芸郡 | (講演) マツダの次世代 環境・安全技術への取組み —SKYACTIV 技術の概要— (講師) マツダ(株) 商品戦略本部 技術企画部 部長 小島 岳二 氏 | (見学) マツダ本社工場・マツダミュージアム | 32 |
| | 第86回 | 8月9日(木) 東京都中央区 | (講演) 自転車の交通事故とその責任 (講師) 一般社団法人)日本損害保険協会 生活サービス部 斎藤 健一郎 氏 | (講演) 自転車を巡る新しい波 (講師) NPO 自転車活用推進研究会 理事長・事務局長 小林 成基 氏 | 44 |
| | 第87回 | 9月20日(木) 東京都江東区 | (講演) 2015年の自動車たち、その現状の真相 (講師) 自動車ジャーナリスト 桃田 健史 氏 | (見学) 電気自動車開発技術展 2012 | 25 |
| 実績合計(名) (オブザーバー含む) | | | | | 101 |
| 予定 | 第88回 | 12月26日(水) 神奈川県横浜須賀町 | (講演) 自転車の機能と安全走行について(仮題) (講師) 日産自動車クリエイティブサービス(株) 専任トレーナー | (体験) テストコースでの安全技術体験実習 | 40 |
| 実績見込合計(名) | | | | | 141 |

20都道府県(38件)の研修会に講師を師派遣

・・・7月～9月

研修

財団は、教育委員会や研究会、高等学校から要請を受け、下表の20都道府県(38件)の研修会に専門の講師を派遣した。合計で1万5千名を超える研修会受講者からは、高い評価をいただくことができた。

内容は、交通安全に関する講師派遣の要請が31件、自動車の最新技術・整備技術に関する講師派遣の要請が7件であった。交通安全の講師に関しては(一社)日本損害保険協会および(一社)日本自動車連盟の各支部に、また、自動車の最新技術の講師は、各県の販売店各社に、整備技術の講師は各県の自動車整備振興会にそれぞれご協力をいただいた。

交通安全に関する研修会の受講者からは、「交通事故が起きやすい場面や、交通社会の一員としての心構えを分かりやすく説明いただいた」「通学の場面でも様々な危険が潜んでいることや、危険を回避するためにはどう

すべきかが分かり、大変参考になった」などの感想が多かった。

また、自動車の最新技術・整備技術に関する研修会においても参加者から高い評価をいただくことができた。具体的には「電気自動車について、歴史から仕組み、構成部品の働きについて分かりやすく解説いただいた。実車による説明・体験試乗することで理解が深まった」「ハイブリッド車の構造・仕組みについて、生徒の目線にあわせて、わかりやすく解説をしていただいた」、「電子制御エンジンの構造と点検・整備についての的確に回答いただいたため、研修後、電子制御エンジンを自力で始動させることができた」などの評価をいただいた。

講師の派遣にご協力いただいた、各県の自動車教育推進協議会および関係団体の皆様には、紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。



▲都立小平高等学校での講師派遣の様子



▲神奈川県高等学校教科研究会での講師派遣の様子

【研修会への講師派遣実績(7月～9月)】 *派遣実績の詳細は添付資料をご参照ください

| NO. | 開催日 | 申 込 者 | | | NO. | 開催日 | 申 込 者 | | |
|-----|------|-------|----------------|-------|-----|------|-------|----------------------|-----|
| | | 地区 | 主催者 | 人数 | | | 地区 | 主催者 | 人数 |
| 1 | 7/4 | 静岡 | 県立富士特別支援学校 | 40 | 20 | 8/3 | 沖縄 | 沖縄県工業教育研究会 ★ | 22 |
| 2 | 7/5 | 山口 | 県立岩国工業高等学校 ★ | 2 | 21 | 8/6 | 大分 | 県立新生支援学校 | 100 |
| 3 | 7/9 | 鹿児島 | 県立額娃高等学校 | 140 | 22 | 8/7 | 山口 | 山口県工業教育研究会 ★ | 64 |
| 4 | 7/9 | 神奈川 | 県立寒川高等学校 | 360 | 23 | 8/8 | 神奈川 | 神奈川県高等学校教科研究会 工業部会 ★ | 13 |
| 5 | 7/10 | 長崎 | 県立島原農業高等学校 | 480 | 24 | 8/9 | 大分 | 県立宇佐支援学校 | 60 |
| 6 | 7/10 | 兵庫 | 県立明石高等学校 | 1,070 | 25 | 8/17 | 長崎 | 長崎県農業教育研究会 食糧生産部会 ★ | 9 |
| 7 | 7/11 | 福島 | 県立相馬東高等学校 | 615 | 26 | 8/27 | 宮城 | 仙台市立仙台工業高等学校・定時制 | 120 |
| 8 | 7/12 | 山口 | 県立宇部商業高等学校 | 460 | 27 | 8/29 | 神奈川 | 横浜市立日野中央高等特別支援学校 | 180 |
| 9 | 7/17 | 長崎 | 県立五島南高等学校 | 140 | 28 | 8/30 | 宮城 | 村田高等学校 ★ | 16 |
| 10 | 7/17 | 鹿児島 | 鹿児島市立鹿児島女子高等学校 | 980 | 29 | 8/31 | 秋田 | 県立増田高等学校 | 443 |
| 11 | 7/17 | 千葉 | 県立柏南高等学校 | 1,100 | 30 | 9/3 | 静岡 | 県立清水南高等学校 | 785 |
| 12 | 7/17 | 滋賀 | 滋賀学園高等学校 | 385 | 31 | 9/4 | 広島 | 広島市立広島工業高等学校 ★ | 40 |
| 13 | 7/18 | 滋賀 | 県立彦根翔陽高等学校 | 597 | 32 | 9/10 | 富山 | 県立高岡商業高等学校 | 803 |
| 14 | 7/18 | 東京 | 都立八王子桑志高等学校 | 639 | 33 | 9/13 | 宮城 | 県立巨理高等学校 | 550 |
| 15 | 7/19 | 千葉 | 県立沼南高等学校 | 580 | 34 | 9/19 | 山梨 | 県立日川高等学校 | 831 |
| 16 | 7/19 | 東京 | 都立小平高等学校 | 281 | 35 | 9/20 | 香川 | 県立高瀬高等学校 | 500 |
| 17 | 7/19 | 静岡 | 富士市立高等学校 | 700 | 36 | 9/21 | 兵庫 | 県立姫路北高等学校 | 400 |
| 18 | 7/20 | 沖縄 | 県立八重山商工高等学校 | 500 | 37 | 9/26 | 宮城 | 仙台市立仙台高等学校 | 840 |
| 19 | 7/24 | 岐阜 | 県立高山工業高等学校 | 430 | 38 | 9/28 | 北海道 | 熊石高等学校 | 44 |

★は技術系 無印は一般系(交通安全)の講師派遣

受講人員合計 15,319名

自動車技術教育・交通社会教育イベントを支援

・・・ 8月2日～4日

財団運営

財団は、自動車技術教育や交通社会教育の推進に関わる高等学校の取り組みを支援している。8月2日～4日に全国ソーラーラジコンカーコンテストが石川県白山市で、8月2日～3日には全国公民科・社会科教育研究会全国研究大会が北海道札幌市で開催され、財団もこれらの大会を支援した。

全国ソーラーラジコンカーコンテストは、今年で19回目を迎え、全国の工業高校から100チームが参加して自作のソーラーラジコンカーによる熱戦が繰り広げられた。石川県自動車教育推進協議会は同コンテストに立ち会うと共に、優秀な成績を収めた山梨県立谷村工業高等学校の「風来坊」チームへ、石川県自動車教育推進協議会事務局長の田賀 勝氏が「日本自動車教育振興財団賞」を授与した。

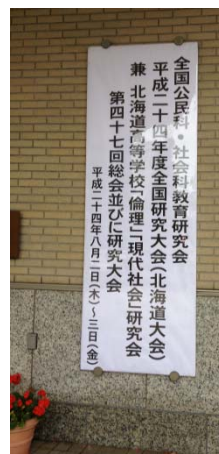


▲ソーラーラジコンカーコンテストの様子

全国公民科・社会科教育研究会（全公社研）は、平成14年8月に全国公民科・社会科研究協議会と全国高等学校「倫理」「現代社会」研究会が合併して設立されたもので、今年は10年目の節目の年となる。

今年の研究テーマは、「持続可能な社会における公民的資質と課題解決能力の育成」。現代社会の諸課題について、高校生が気づき、解決方法を検討し、将来の主体的な生き方を考えるために、どのように教育を実践していくかについて、約90名の先生方が議論を行った。

財団では、今後も自動車技術教育や交通社会教育に関わる高等学校の活動を支援していく予定である。



▲全公社研全国大会の様子

国内交通調査を実施

・・・ 7月17日～18日

調査研究

財団は、交通社会教育に係る情報提供の一環として国内の交通調査を実施している。今回の交通調査では、生徒の交通安全に対する意識をより強く持たせようと、自転車運転免許制度を導入する高校が近年増加していることから、昨年に同制度を導入した岐阜県立加茂高校、及び同制度導入に協力した加茂自動車学校、加茂警察署を取材した。

加茂高校の自転車運転免許試験は、昨年11月に当時の1年生（現2年生）を対象に実施。加茂自動車学校にて学科試験と実技試験の両方を行い、8割以上の点数で免許証が交付されるもの。不合格者には追試が行われる。本年度は5月に新1年制を対象に実施した。

制度導入を推進した加茂高校の河田先生は「生徒の自転車事故件数自体は導入前とあまり変わらないが、交通ルールの遵守意識が高まった。また、地域からの苦情件数がほとんどなくなった」と免許制度導入の効果を強調。加茂高校生との座談会でも、「交通ルールを学ぶいい機会となった。ルールを守ろうと意識するようになった」と自転車運転免許制度に好意的な声が寄せられた。

この調査結果は、財団の情報誌Traffi-Cation秋号（第31号）の特集で取り上げ、全国約5,900校、定期購読の先生方約700名、その他財団関係者等に提供を行った。

【自転車運転免許制度を導入した主な高校】

| 導入年月 | 学校名 | 試験の対象 | 実施月 | 交付条件 |
|----------|---------------------------|---------------------|----------------------|---|
| 2006年10月 | 福岡県立柏陵高校 (福岡市南区) | 1年生 | 毎年4月 | 実技試験 学科試験 任意保険への加入 自転車点検の実施 |
| 2010年11月 | 愛知県立春日井工業高校 (愛知県春日井市) | 1年生 | 毎年5月 | 実技試験 学科試験 |
| 2011年10月 | 岐阜県立加茂高校 (岐阜県美濃加茂市) | 1年生 | 毎年5月 | 実技試験 学科試験 任意保険への加入 |
| 2012年1月 | 兵庫県立有馬高校 (兵庫県三田市) | 1年生 | 毎年4月 | 実技試験 学科試験 |
| 2012年4月 | 浦和学院高校 (さいたま市緑区) | 1年生 筆記試験は 全学年 | 毎年4月 | 実技試験 筆記試験 |
| 2012年5月 | 岐阜県立八百津高校 (岐阜県加茂郡八百津町) | 1年生 | 毎年5月 | 実技試験 学科試験 |
| 2012年5月 | 岐阜県立加茂農林高校 (岐阜県美濃加茂市) | 1年生 | 毎年5月 | 実技試験 学科試験 |
| 2012年5月 | 慶成高校 (北九州市小倉北区) | 全学年 (毎年更新) | 毎年4月 | 交通安全講習会の受講 自転車の防犯登録 自転車に鍵を2個付ける 自転車の安全点検 任意保険への加入 |
| 2012年7月 | 兵庫県立東播工業高校 (兵庫県加古川市) | 1年生 | 4月または 5月に実施 予定 | 実技試験 学科試験 |